

長城(王遵)  
ちようじよう おうじゆん

秦 長城を 築いて 鉄牢に 比す  
しん ちようじよう きす てつろう ひ

蕃戎 敢えて 臨洮に 逼らず  
ばんじゆう あ りんとう せま

焉くんぞ 知らん 万里 連雲の 勢  
いす 知らん ばんり れんうん いきおい

及ばず 堯階 三尺の 高きに  
およ ぎようかい さんじゃく たか

秦築長城比鐵牢 蕃戎本敢逼臨  
焉知萬里連雲勢 不及堯階三尺高

解説 万里の長城にことよせて政治のあり方を詠じたものである。

語釈 ※長城Ⅱ万里の長城。秦の始皇帝が匈奴の侵入を防ぐために築いたもの。 ※蕃戎Ⅱ外民族。 ※臨 Ⅱ地名。いまの甘肅省岷県。秦の長城は西の起点がこの臨であった。 ※結知万里連雲勢Ⅱ一本には「雖然万里連雲際」につくる。連雲の勢いとは、万里の長城のものすごく高く大きく、雲に連なるような勢いをいっている。 ※堯階三尺Ⅱ堯の宮殿の階段は三尺しかなかったということ。質素であつたことをいう。

通釈 秦の始皇帝の築いた万里の長城は鉄のように堅かつた。それだから、えびすどもも臨にまで近づくことはなかつた。だが、万里も連なつて、雲に接するほどの勢いの長城も、あの聖王堯の宮殿の階段の三尺の高さに及ばないとは、誰が知ろう。